フォートロン®。強靭性に優れたスーパーな材料。

分子構造に架橋を伴わない直鎖状分子構造のPPS樹脂「フォートロン®」が、これまでモロイとされてきたPPS樹脂の評価を一変させ、比類のない耐衝撃性を実現しました。
イオン性不純物が少なく、熱安定性にすぐれ、成形加工が容易。ウエルド強度が大きく、ねじや圧入等の二次加工性にも優れていますので、ランプソケットやウォーターポンプ、電装部品などの自動車部品からOA機器やAV機器などの機能部品まで、その特性が活かされ、今後の成長がいっそう期待されています。

<Solution Platform for Engineering Plastics®>
「フォートロン」は、エンジニアリングプラスチック材料メーカーであるポリプラスチックスが進める確かなステップのひとつです。

□「ジュラコン®」ポリアセタール(POM)
□「ジュラネックス®」ポリブチレンテレフタレート(PBT)
□「フォートロン®」ポリフェニレンサルファイド(PPS)
□「ベクトラ®」液晶ポリマー(LCP)
□「トパス®」環状オレフィンコポリマー(COC)
□「フレクティス®」誘電率制御材料

Polyplastics
ポリプラスチックス株式会社　www.polyplastics.com
〒108-8280 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル TEL:03-6711-8600

化学遺産

第006号

カザレー式アンモニア合成装置および関連資料

肥料から繊維へ

野口遵(したがう)は肥料となる硫安の原料アンモニアを製造するため、イタリアのルイギ・カザレーからカザレー式アンモニア合成の特許を取得。宮崎県延岡市に工場を建設。現在の旭化成グループの始まりだ。

カザレー式アンモニア合成に成功し、1923年、日本初の合成アンモニアが誕生する。その後、再生繊維「ベンベルグ」、レーヨン繊維の生産を行う。

豊かな水資源を持つ延岡市は繊維産業を中心に発展を続け、工業都市となった。

(旭化成ケミカルズ愛宕事業場)

第007号

朋百舎密書

蘭医の講義録

1857年、徳川幕府からの要請でオランダ陸軍軍医のポンペ・ファン・メールデルフォールトは長崎に着任した。1862年までの5年間、日本人医師の教育に従事した。

ポンペの医学伝習は外科学、内科学、生理学、病理学などの医学の全分野を網羅した総合的なものだった。日本での西洋人による医学教育は初めて。

朋百舎密書(ぽんぺせいみしょ)はポンペが医学生のために行った化学講義を記録した手本書。ペン書きのオランダ語で、洋装の2冊だ。スペルミスが多くあるため、日本人が筆録したものと考えられている。

(赤江赤十字病院)

第008号

川本幸民化学関連資料

化学書訳稿など14点

幕府の蕃書調所の教授として活躍した川本幸民(こうみん)。化学と物理のオランダ語の書籍の翻訳に取り組み、蘭学者の宇田川榕菴(ようあん)の実質的な後継者とされた。1850年代後半から約15年間は化学書の翻訳を行った。

川本はさまざまな分野の翻訳に携わったが、特に化学に興味を持っていた。翻訳だけでなく実験を実際に行った実践家である。

今回、オランダ化学書の訳稿、化学関係の記事を含む覚書など14点が化学遺産に認定された。

(日本学士院)

第009号

日本のセルロイド工業の発祥を示す建物および資料

キューピー人形

世界初の汎用樹脂であるセルロイド。セルロイド生地を国内で製造するため、1908年、堺セルロイドおよび日本セルロイド人造絹糸(現ダイセル化学工業)が設立された。

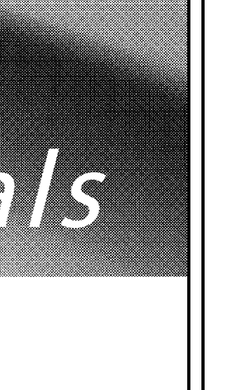
邦人技師の努力により国産化に成功し、1937年には日本が世界一の生産量を誇るようになる。キューピー人形、眼鏡フレームなどに使用された。

セルロイドは日本の化学産業の発展を支えてきたが、石油化学樹脂の誕生により、1996年、セルロイド生地の国内生産の幕は閉じた。

(ダイセル化学工業「ダイセル異人館」)

第010号

日本の板ガラス工業の発祥を示す資料

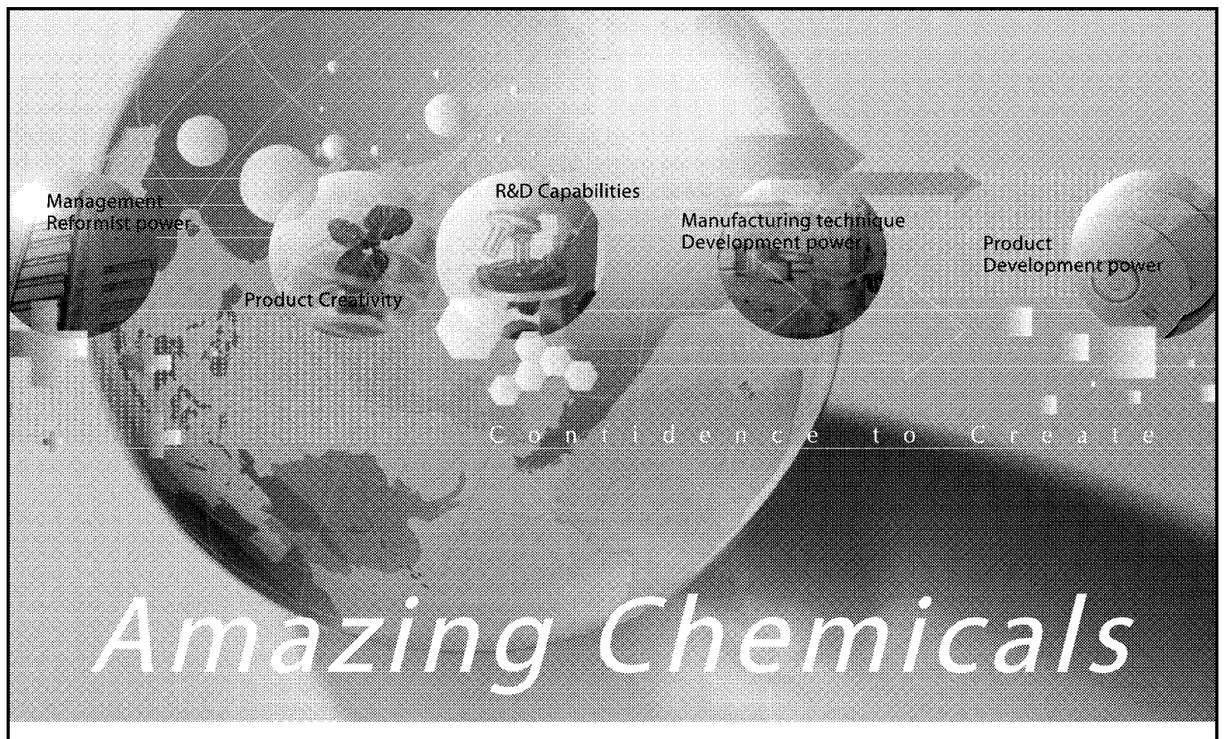


西洋技術を導入

日本では幕末に西洋技術を導入しガラスの試験的生産を始め、明治には本格化した。当時、西欧で行われていた大型手吹き円筒法は肺活量や身長など、日本人の体系には合わず、失敗の連続だった。

1907年、三菱の創始者岩崎弥太郎の甥(おい)である岩崎俊弥が旭硝子を設立し、板ガラスの工業化に挑む。ベルギーの手吹き円筒技術を導入し、明治末に板ガラスの工業化に成功。1914年には超先端技術を導入したラバース式機械吹き円筒法に成功。この機械化は1800年以上のガラス工業の歴史を変えた。

(旭硝子)



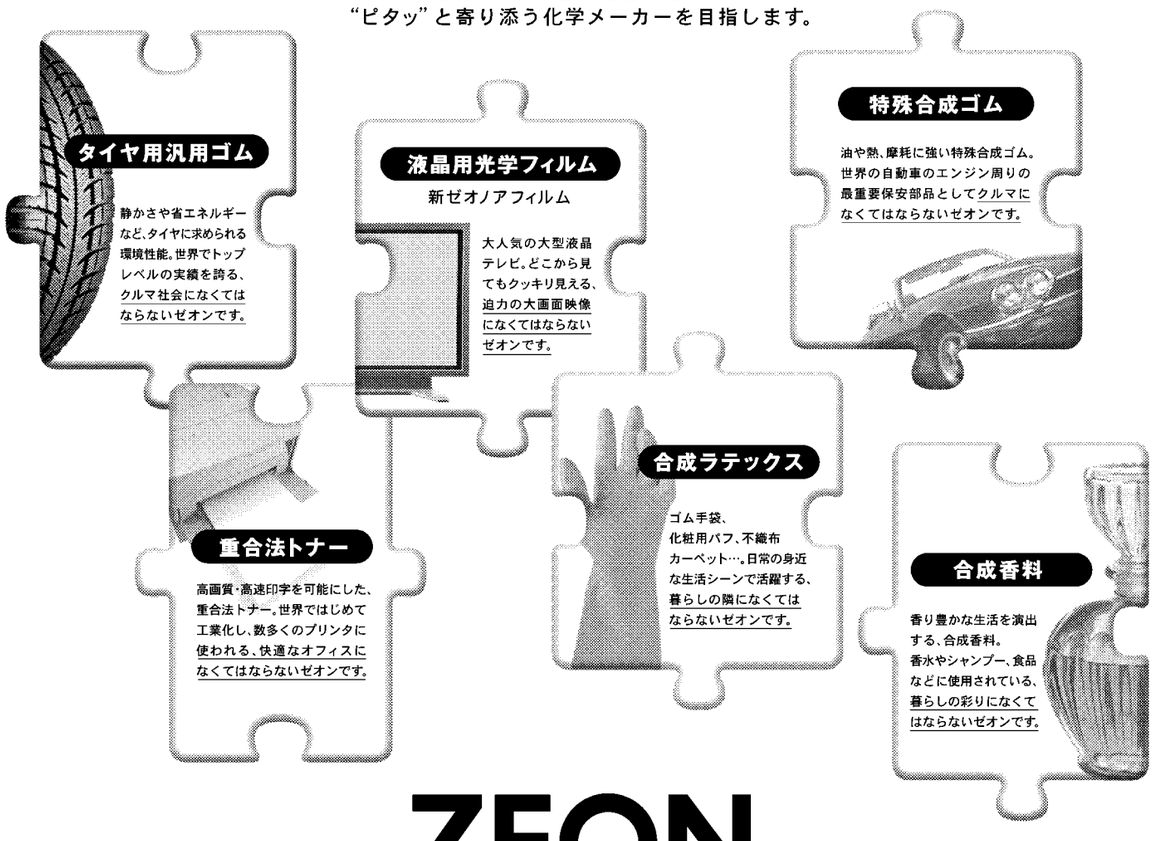
私たちが考える化学技術の先端とは、地球を守り、ヒトを守る、
生きるものすべてに対して優れた化学製品であること。
「アデカ」は磨き抜かれた技術と研究開発力によって、
地球上に住む人々に化学品で感動と驚きを提供する企業でありたいと思います。
今、「アデカ」の化学力は世界へ広がり続けています。

お問合せ先
株式会社ADEKA
〒116-8554 東京都荒川区東尾久7-2-35 TEL(03)4455-2850 http://www.adeka.co.jp

ADEKA
Amazing Chemicals

ピタッと、ゼオン。

私たちは、人がいきいきとする暮らしに
"ピタッ"と寄り添う化学メーカーを目指します。



ZEON
日本ゼオン株式会社 www.zeon.co.jp 本社:〒100-8246 東京都千代田区丸の内1-6-2